



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

92.9.7 No.3652

2/3 支部代表者会議 強制配転者の原職復帰 争い闘争のため 自衛隊がボジョア出兵阻止

強制配転者の原職復帰、自衛隊カンボジア派兵阻止を中心とした今秋闘争の取り組みを確認する第一回支部代表者会議が、九月二日に開催された。

動労千葉にとって今秋闘争の焦点は、まず第一に一〇月三・四日に行われる第一九回定期大会をどのように成功させていくのかという点である。

「分割・民営化」から五年。「JR体制」の攻撃に耐えながら、財政基盤の確立を通し、四〇名の解雇者を支え、又、清算事業団闘争に代表される国鉄労働運動の息吹が、確実に対JR闘争の勝利を導いていること。そしてこの全過程を通して、「分割・民営化」体制が音をたてて崩壊してきたことを、われわれは確認できる。

その意味において、今後の運動展開のうえからも、第一九回定期大会を全組合員の英知を結集していくものとしなければならない。

営業合理化撤回 12月ダイヤ改闘争を 結合させ闘おう!!

そのうえにたつて当面する課題は、①強制配転者の原職復帰の取り組みである。

「分割・民営化」の過中から現在、六〇名にも及ぶ営業関係への強制配転者が、「塩づけ」攻撃に晒されている。「一二月ダイヤ改」と営業関係合理化撤回闘争(非効率店舗の廃止等)を契機として、何としても運転職場への復帰の足がかりをたてなければならぬ。

この問題は、動労千葉にとってゆずることのできないJRとの対立点なのだ。

又、「九二・三ダイヤ改」以降、積上げてきた諸件案事項の解決と、次期ダイヤ改へ向けての労働条件改善の突破口とするためにも、この闘いを結合させる必要があるのだ。

ついに開始される海外派兵 総力で反戦闘争に起ろう

当面する課題の②は、自衛隊カンボジア出兵阻止を中心とした今秋反戦闘争の大高揚を創り出すことである。

六月一五日の、PKO協力法案強行成立によって、歴史が変わったのだという認識を明確にしなければならぬ。

八日に閣議決定される具体的実施計画により、一〇月にも強行されようとしている自衛隊の第一次出兵は、複合不況の到来、経済危機「勢力圏」の確保、アジア支配のために、軍事力の行使に踏み出すという、決定的な歴史の転換点をなす攻撃である。

そして天皇訪中の目的も、アジア支配のための露払いであることは明らかなのだ。

このときに労働者が反戦の闘いを組織できなければ、労働運動そのものが押しつぶされてしまうことになる。

われわれは、労働者の立場にたちきり、組織の総力をあげて反戦闘争に起ちあがらなければならない。

具体的スケジュール
一〇月二日 三里塚現地全国総決起集会
一〇月二日 国際反戦デー全国統一行動
十一月二日 自衛隊出兵・天皇訪中阻止
全国総決起集会

自衛隊派兵の状況により、大阪現地での全国総決起集会の開催、緊急行動を含め、総力をあげて闘い抜こう!

一二月ダイヤ改および原職復帰の取り組み 闘いの目標

- 一、強制配転者の原職復帰
- 二、申二五号要求(九二・三ダイヤ改以降の問題点)の解決
- 三、九二・三ダイヤ改における労働条件改善・運転保安確立
- 四、営業関係合理化提案の撤回

第一九回定期大会

日時 一〇月三日(土) 一三時から

四日(日) 一二時まで

場所 国民宿舎「のさか望洋荘」

